■ ABSTRACT OF JAPANESE PUBLICATION OF UNEXAMINED UTILITY MODEL APPLICATION No. 54-151504

A button comprising: a metallic male portion (5) including a seat plate (1) in which a leg (3) having a thin tip end and a step (2) with a big diameter projects at the center thereof; and a female portion (14) including a base plate (6) in which a cylinder portion (10) having a through-hole (7) with a slightly smaller diameter than the leg (3) projects at the center thereof, the base plate (6) being coated with a metallic decorative plate (13).

公開実用 昭和54-151504



(3,000円)、

実用新案登録願

昭和よる年

特許庁長官殿

1. 考案の名称

2. 考 案 者

3. 実用新栥登録出願人



〒540 4. 代 理 人

大阪市東区和泉町1丁目17番地 (3198) 弁理士 石 田 定 電話大阪 (66) 941 -- ?295 器 (外一名)

- 5. 添附書類の自録

(1) 明細書 1通(2) 図面 1通

(3) 委 任 状 1 通 (4) 願書副本

J 53 043293

明 細 書

/ 考案の名称 釦

2 実用新案登録請求の範囲

監板 1 の中央に先端が先尖で、太径の段部 2 を 形成した脚 3 を突設した金縄製維部 5 と、基板 6 の中央に、前記の脚 3 より少許小径の貫通孔 7 を 有する胴部 10 を突設して全体を強靭性の合成樹脂 で形成し、基板 6 に急縄製の飾板 13 を被着した雌 部 14 とからなる釦。

10 3 考案の詳細な説明

本考案は、雄部の脚装着による雌部の破損を防止できる剣に係るものである。

本考案の実施例について説明すれば、座板1の中央に先端が先尖で、太径の段部2を形成した側15 3を突殺し、腰座板1に表板4を被着した金属製維部5と、基板6の中央に、前記の脚3より少許小径の貫通孔7、それに続く段周部8を設けて広径の貫通孔9を有する胴部10を突設し、機胴部10の頂面11に、小突起12を複数個突むして全体を強 20 敬性の合成樹脂で形成し、基板6に金属製の飾板

公開実用 昭和54- 151504

13を被着した雌部14とからなるものである。

尚、第5回、第6回は黄道孔7の形状を変形したものであり、又金属製の雄部5の脚3は中空又は中実に形成することも自由である。

5 本考案の餌を生地に装着する場合は、第4図に 示す如く、唯部14の嗣部10の頂面11上に生地15を 位置せしめ、維部5の脚3を、雌部14の嗣部10の 貫通孔7に沿せて機いて、上方より強圧する。

金属製の雄部 5 の脚 3 は先端が先尖であるため、 10 生地 15 を突き破り、脚 3 の段部 2 は合成樹脂製の 雌部 14 の胸部 10 の質通孔 7 の内壁7Aを押し拡げ乍 5 進入し、脚 3 の段部 2 が内壁7Aを通過後、段部 2 が段岡部 8 に係合して脚 3 は胴部 10 に確実強固 に係止され、且つ雌部 14 の頂面 11 の複数値の小突 15 起 12 が生地 15 に喰い入り、雌部 14 の回動を防止し て生地 15 との係合を緊持する。

本考案は上記の如き構成で、雄部 5 は便い金属要であり、雌郡 14 はナイロンの如き強靭性を有する合成樹脂で形成されている為め、係合に際しては、雄郡 5 を押圧すれば胴郡 10 の貫通孔 7 の内壁

20

5

10

15

20

7Aを押し拡げ乍ら進入し、狭い径の貫通孔 7 を通 減後、段部 2 が段周部 8 に係合して脚 3 は胴部 10 に確実強固に係止されるものである。

従来は第7図の如く、合成樹脂製の雌都J4Aの挿入孔7Bに、金属製雌部5Aで太径の段部2を有する脚3を打込む釦にあつては、挿入孔7Bが底路りであるため、雌釦5Aの装着の際の打圧により、作入孔7Bの圧縮空気は逃げ場がない為め、往々にして神入孔7Bの内壁は押し拡げられ胴部10が膨張して変形したり、又胴部10或いは基板6に急殺が接受するケ点を有していた。然かも斯る破損釦が装着せられる時は、その撤去並びに再度新部品を装着せるはならないことは、釦装着作業に支障を来たし且つ多大の無駄な手数を要することとなる欠点を有している。

然るに本考案の創は、雄部 5 の脚 3 を挿入して取付ける雌部 14 の胸部 10 に設けた貰道孔 7 は基板 6 の部分を貰適して閉口して居る故に、雄部 5 の取付け時に際し。貫適孔 7 内の空気は、基板 6 に被着された金属製の飾板 13 の凹凸模様又は文字等の

5

10

15

20

公開実用 昭和54-151504

部分と基板 6 との間の空所或いは貫通孔 7 の残存 部分に相当の空気全部が圧縮されても圧縮比が少な であるいに膨張変形、或いは胴部 10 及 で基板 6 に亀裂を生じない。又基板 6 と飾板 13 の 接当部分は必ずしも完全審者にかない場合との 番孔 7 内の圧縮空気は外部に漏出し、腸部 4 やる。 で基板 6 に彫場での発生は防止し得られる。 存在による不体裁は防止し得られる。

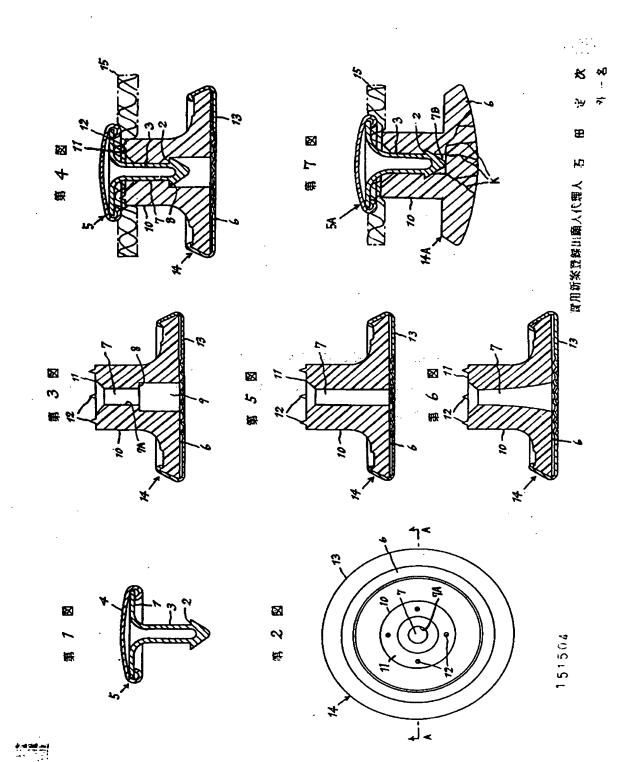
更に本考案に於いては、金属製の雄部 5 を使用し、雄部 14 の胴部 10、基板 6 を合成側筋の一体的の形成として、雄部 5 の脚 3 の先端部分を雌部の合成側筋の部分で係者し、基板 6 に被着するものを破り、基板 13 の材質を整くである。ではないので、株里に飾取 13 の材質を整く原いのはないので、株里に飾取 13 の材質を整くののを使用する要なく、薄きものにて事足り、この凹凸を使用する要なく、薄きものにて事足り、この凹凸を使用する要なく、薄きものにて事足り、この凹凸を使用する要なく、薄きものにて事足り、この凹凸を使用する要なく、対料を卸割出来、且つ飾板を使用

出来る利点を有している。

幺図面の簡単な鶫明

図面は本考案の実施例を示すもので、第/図は 維部の接断面図、第2図は維部の平面図、第3図 5 は第2図のA - A 額断面図、第4図は雌雄部の係 合状態を示す被断面図、第5図第6図は他の実施 例を示す維部被断面図、第7図は従来例の係合状 額を示す維新説明図である。

> 実用新案登録出顧人 カネエム工業 株式会社 代 理 人 石 田 定 次 外 / 名



開実用 昭和54—151504

公開実用 昭和54-151504

41-14 Nove

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☑ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.